

200501395A

平成17年度厚生労働科学研究費補助金
厚生労働科学特別研究事業

「歯科医師の臨床研修施設群内における協力型臨床研修施設と
研修歯科医とのマッチングシステムの開発」に関する研究

平成17年度 総括研究報告書

主任研究者 住友雅人

平成18年3月

目次

I. 総括研究報告

「歯科医師の臨床研修施設群内における協力型臨床研修施設と
研修歯科医とのマッチングシステムの開発」総括研究報告・・・・・・・・A

臨床研修施設群方式の研修プログラムの現状・・・・・・・・B
住友雅人

II. 分担研究報告

1. 外国におけるマッチングプログラムの調査に関する研究・・・・・・・・C
石井拓男
(資料)

2. 臨床研修群内マッチングシステムの運用方法に関する研究・・・・・・・・D
出口眞二
(資料)

3. 臨床研修群内マッチングのアルゴリズムの評価および運用に関する研究・・E
土田泰治
(資料)

III. 研究成果の刊行に関する一覧表

IV. 研究成果の刊行物・別刷

厚生労働省科学研究費補助金
平成 17 年度厚生労働省特別研究事業

総括研究報告書

「歯科医師の臨床研修施設群内における協力型臨床研修施設と研修歯科医との
マッチングシステムの開発」に関する研究

主任研究者 住友 雅人 日本歯科大学附属病院長

研究要旨

歯科医師臨床研修において臨床研修施設群方式で研修を行う場合、管理型施設 1 に対し、同じ分野の研修を行う協力型臨床研修施設が全国に多数（最大百数十施設）あり、最大百数十人の研修歯科医がそのいずれかに向向することとなる。歯科医師臨床研修の必修化にあたり、医師の臨床研修と同様のマッチングシステムを導入したものの、現状のシステムでは協力型研修施設、研修希望者双方の希望を十分に反映したマッチングは行えない。そこで、研修希望者が研修プログラムとマッチした後に、臨床研修施設群内において、協力型研修施設と研修歯科医との公平な組合せを行う歯科独自の二次的なマッチングシステムを開発する必要がある。現状のシステムでは、1 研修希望者と 1 プログラムとの組合せを決定するものであるが、臨床研修施設群内マッチングシステムでは 1 研修希望者と複数の施設との組合せを決定しなければならない。また、群内でマッチしない研修希望者をなくす必要がある。

本研究では、これらの問題点を解決するために、臨床研修施設群方式の研修プログラムの現状調査、諸外国におけるマッチングプログラムの調査、臨床研修群内マッチングシステムの運用方法、臨床研修施設群内マッチングシステムのアルゴリズムの評価およびシステムの運用について検討した。

分担研究者

石井拓男（東京歯科大学千葉病院・社会歯科学教授・病院長）

出口眞二（神奈川歯科大学歯周病学教授・副病院長）

土田泰治（三菱電機（株）情報システム推進部システム・第 1 部ソリューション技術第 1 課専任）

協力研究者

江藤一洋（歯科医師臨床研修マッチング協議会会長）

宮武光吉（財団法人歯科医療研修振興財団理事）

秋山仁志（日本歯科大学附属病院助教授）

A. 研究目的

歯科医師法の一部改正により、歯科医師臨床研修が平成 18 年 4 月 1 日から必修化されるにあたり、すべての臨床研修対象者が公平に研修先を選択できるよう、マッチングシステムが導入された。

しかしながら、臨床研修施設群内で協力型研修施設と研修希望者とのマッチングが行われなければ、双方の採用・就職の希望が十分に反映されないことになるため、マッチングへの不参加を促し、結果、マッチングシステムそのものが成立しなくなることが危惧される。また、現在行われている努力義務規定での臨床研修においても、臨床研修施設群内で希望の協力型研修施設、研修希望者を選択できないことが問題になっており、臨床研修施設群内マッチングの導入が切望されている。歯科医師臨床研修の円滑な導入と実施のためには、歯科独自の 2 次的な臨床研修施設群内マッチングの導入が必要である。

本研究の目的は、歯科マッチングのノウハウを用い、研修歯科医と協力型研修施設との双方からの希望を取り入れる独自の臨床研修施設群内マッチングシステムの開発することである。なお、本システムは、必修化開始に間に合わせなければならぬため、平成 18 年 4 月には運用が開始できるよう、本年度中に開発を終えることが必要である。

B. 研究方法

1. 全国歯科大学・歯学部附属病院の臨床研修施設群プログラムの現状調査

臨床研修施設群方式の研修プログラムの現状の把握をする目的で、全国歯科大学・歯学部附属病院の診療研修施設群 33 施設に以下の項目から構成されるアンケート調査を施行した。

- 1) 平成 17 年度に複合方式の臨床研修の実施の有無
- 2) 平成 17 年度の従たる施設と研修歯科医の組み合わせ方法
- 3) 平成 17 年度の研修歯科医に対する従たる施設の情報提供及び提供手段、情報種類
- 4) 平成 17 年度の従たる施設へ提供した研修歯科医の情報
- 5) 平成 18 年度の協力型施設と研修歯科医の組み合わせ方法
- 6) 平成 18 年度の研修歯科医に対する協力型施設に関する情報提供
- 7) 平成 18 年度に協力型施設へ提供する予定の研修歯科医の情報種類
- 8) 今までに研修歯科医と従たる施設間で発生した問題点
- 9) 平成 18 年度の管理型・協力型での取り決め事項（人数・時期・期間）
- 10) 群内マッチングの利用予定の有無

2. 諸外国におけるマッチングプログラムの調査

歯科における類似のマッチングプログラムの有無を調査する目的で、諸外国、特にアメリカ、カナダ、イギリスにおけるマッチングの現状について調査を行った。

3. 臨床研修群内マッチングシステムの運用方法

臨床研修施設群内マッチングシステムを平成 18 年 4 月から実施するために、群内マッチング実施のためのスケジュール、説明会日程の開催、希望順位表登録時期、マッチ結果公表方法、希望順位表登録方法、アンマッチをなくすため具体的な運用上の方策を検討した。

4. 臨床研修施設群内マッチングシステムのアルゴリズムの評価および運用

歯科医師の臨床研修群内における協力型臨床研修施設と研修歯科医を合理的かつ効率的に組み合わせを行うために、群内マッチングシステムを開発し、かつ構築したマッチングプログラムのアルゴリズムの作成と検証を行い、本マッチングシステムのシステム仕様を規定した。

C. 研究結果

1. 全国歯科大学・歯学部附属病院の臨床研修施設群プログラムの現状調査結果

臨床研修施設群方式の研修プログラムの現状の把握をする目的で、全国歯科大学・歯学部附属病院の診療研修施設群 33 施設に以下の項目から構成されるアンケート調査を施行し、28 施設から回答を得た。

1) 平成 17 年度に複合方式の臨床研修の実施の有無

複合方式の臨床研修の実施について、実施あり 10 施設、実施なし 10 施設、回答なし 8 施設であった。

2) 平成 17 年度の従たる施設と研修歯科医の組み合わせ方法

従たる施設と研修歯科医の組み合わせ方法について、研修歯科医と従たる施設との合意が 11 施設、研修歯科医の希望のみが 3 施設、管理型施設で決定が 2 施設、その他が 2 施設であった。

3) 平成 17 年度の研修歯科医に対する従たる施設の情報提供及び提供手段、情報種類

研修歯科医に対する情報提供について、行った施設が 10 施設、行わなかった施設が 10 施設、回答なしが 8 施設であった。また、情報種類については、施設説明会の実施、従たる施設

への見学企画、その他であった。

4) 平成 17 年度の従たる施設へ提供した研修歯科医の情報

従たる施設に提供した研修歯科医の情報について、研修歯科医の個人プロフィールが 10 施設、管理型研修施設における研修評価が 3 施設、全研修歯科医名簿が 3 施設、その他であった。

5) 平成 18 年度の協力型施設と研修歯科医の組み合わせ方法

平成 18 年度に行う予定の協力型施設と研修歯科医との組み合わせ方法について、研修歯科医と協力型施設との合意が 57%と最も多く、管理型施設のみで決定が 13%、研修歯科医の希望のみで決定が 7%であった。

6) 平成 18 年度の研修歯科医に対する協力型施設に関する情報提供

平成 18 年度に行う予定の研修歯科医に対する協力型施設に関する情報提供について、説明会の実施が 75%、記載なしが 25%であった。

7) 平成 18 年度に協力型施設へ提供する予定の研修歯科医の情報種類

平成 18 年度に行う予定の協力型施設へ提供する研修歯科医の情報について、研修歯科医のプロフィールが 21 施設、管理型施設における研修評価が 12 施設、情報提供がなく直接面接が 3 施設であった。

8) 今までに研修歯科医と従たる施設間で発生した問題点

平成 17 年度までに発生した問題点について、途中終了が 28%と最も多く、以下人的トラブル、情報不足、技量不足の順であった。

9) 平成 18 年度の管理型・協力型での取り決め事項（人数・時期・期間）

平成 18 年度の管理型施設と協力型施設との取り決め事項について、受入れ期間が 23 施設、

受入れ時期が 21 施設、受入れ人数が 20 施設、記載なしが 7 施設であった。

10) 群内マッチングの利用予定の有無

群内マッチングの利用予定について、説明を聞いてから考えるが 61%、利用するが 18%、掛る費用によるが 7%、利用しないが 14%であった。

2. 諸外国におけるマッチングプログラムの調査

1) 海外でのマッチングの利用状況

海外でのマッチングの利用状況について、医師のマッチングを実施している国は、アメリカ（レジデンシー、専門医）、カナダ、イギリスであった。

2) アメリカでの研修先決定方法

アメリカで医師の研修先を決定するための手順は、以下の通りであった。

①プログラムの選択（6月）

米国には、FREIDA と呼ばれるオンラインのプログラム情報（日本では、厚生労働省が運営している D-REIS がそれにあたる）があり、6月頃に、研修を希望するプログラムをリストアップする。希望のプログラムと面接するためには、推薦状（所属医局の教授や出向関連病院の部長、医学部の学長に依頼する）が必要となるので、その作成を依頼する。また、プログラムごとの制約（外国人医師を希望しないプログラム、ビザ発給の特徴、応募に際して米国での一定の臨床研修が課される）を確認する。

②面接を受けるための資料作成（7月）

米国では、ERAS という仕組みがあり、そこに履歴書や、成績表、推薦状などをアップすると各プログラムに送付するというサービスがある。まずに、登録を行い必要な情報の記入、登録を実施する。

③Personal Statement の作成（6～8月）
各自のメッセージを記述する Personal Statement を作成する。

④ERAS への登録（9月）

ERAS の受付が開始すると面接を受けたいプログラムを ERAS に登録する

⑤面接（10月～2月）

多くは11月から1月中旬がメインで面接を行う。9月上旬に多くのプログラムに応募することが重要である。

⑥NRMP（米国のマッチング協議会）への希望順位表の提出（1月中旬～2月下旬）

1月中旬から下旬にかけて、各プログラムが NRMP へ希望順位表を行う。

マッチングアルゴリズムは日本と米国は同じため、単純に行きたいプログラムから順に書くことが必要である。

⑦マッチングの発表とスクランブル（3月中旬）

マッチデーの3日前に、NRMP からマッチ成功・不成功のメールが届く。

アンマッチの場合は、スクランブルと呼ばれる期間に研修先を決定する。マッチデーの2日前に、空席のあるプログラムが公表されるため、アンマッチ者はその空席情報をみて、自ら（又は、Dean）が空席に対してアプローチを行う。

3) NRMP のマッチ結果（2002年）

2002年の NRMP のマッチ結果は以下の通りであった。

PGY-1

U.S. Senior	マッチ率 94.1%
Canadian Students	マッチ率 77.8%
U.S. Graduates	マッチ率 45.0%
Osteopaths	マッチ率 70.9%
U.S. citizen foreign graduates	マッチ率 53.9%

Non-U.S. foreign graduates

マッチ率 38.5%

3. 臨床研修群内マッチングシステムの運用方法

臨床研修施設群内マッチングシステムを平成18年4月から実施するために、群内マッチング実施のためのスケジュール、説明会日程の開催、希望順位表登録時期、マッチ結果公表方法、希望順位表登録方法、アンマッチをなくすため具体的な運用上の方策について具体的に設定した。

1) 群内マッチングシステム構築の前提

群内マッチングシステムは構築の前提は以下の通りとした。

2006年度実施予定の複数(3個)のプログラムに対応したシステムを構築した。モデル病院で試験運用を実施することとし、プログラムの種別・分類については、モデル病院である日本歯科大学附属病院を利用することとした。

研修歯科医と協力型病院、運用者の作業手順は、基本的に、「歯科マッチング」と同じ手順にした。群内マッチングを成功させるために、参加者・施設のモチベーションの向上と維持を図ること、マッチングへの参加意識を持たせること、ルール(規約)を明確化することに重点をおいた。

2) 研修歯科医への説明内容

研修歯科医への説明(例:日本歯科大学附属病院の場合)では、施設の選び方として以下の9項目について行うこととした。

- ①多くの施設の情報を入手すること。
- ②群内マッチングの施設ホームページ
- ③施設の説明会
- ④施設のWebページ
- ⑤あらかじめアポイントをとり、可能な限りの

施設を訪問して、施設を確認すること。

⑥将来などを考え自らの希望を書き出しておくこと。

- (ア) 何を学びたいのか
- (イ) 職種
- (ウ) 地域
- (エ) 将来の歯科医師像
- (オ) 給与
- (カ) 待遇
- (キ) 職員の数
- (ク) 設備

⑦質問事項を明確にしておくこと。

⑧絶対に譲れない部分と、譲歩できるところを明確にしておくこと。

⑨集めた施設の情報により、順位を定めること。

- (ア) 行きたい順位
- (イ) 行きたくない順位
- (ウ) どちらでも良い施設
- (エ) 行きたくない(行けない)場所
- (オ) 行きたい場所

3) 協力型臨床研修施設・希望順位表の入力ルール

協力型臨床研修施設・希望順位表の入力ルール(例:日本歯科大学附属病院の場合)において、以下の5項目の設定を行った。

①希望順位登録表に関しては、全協力型研修施設(110施設)、全研修歯科医が登録されている。(画面上では、全協力型研修施設、全研修歯科医の名前がすでに登録されているため、希望順位の入力済んでいると勘違いしないように、必ず希望順位に従って研修歯科医を移動すること。)

②協力型臨床研修施設は、希望する研修歯科医を上位へ移動させる。

③協力型臨床研修施設は、希望しない研修歯科医を下位へ移動させる。

④管理型長期プログラム（Aプログラム）、協力型長期プログラム（Bプログラム）、協力型複数プログラム（Cプログラム）の研修歯科医すべてを協力型臨床研修施設の希望する順位に基づいて希望順位表に登録する。

⑤協力型施設の定員は、マッチングで決定した全ての人数を受け入れられるだけの数にする必要が有ること。並行申請している協力型の施設は、全ての施設が全員マッチングした場合を想定した人数に設定すること。

4) 希望順位表登録方法

研修歯科医及び施設は、利用登録及び希望順位表（ROL）の登録は、1度だけ行う。（登録期間中は何度でも変更可能とする。）

アンマッチをなくすために、研修歯科医は希望順位表に全施設を登録する。（システムにて入力を支援する。）

アンマッチをなくすために、施設は希望順位表に全研修歯科医を登録する。（システムにて入力を支援する。）全員をマッチさせるためには、定員数は参加者数より多いことが必要である。

4. 臨床研修施設群内マッチングシステムのアルゴリズムの評価および運用

歯科医師の臨床研修群内における協力型臨床研修施設と研修歯科医を合理的かつ効率的に組み合わせを行うために、群内マッチングシステムを開発し、かつ構築したマッチングプログラムのアルゴリズムの作成と検証を行い、本マッチングシステムのシステム仕様を規定した。群内マッチングシステムは、「医師マッチングシステム」や「歯科マッチングシステム」で実績のあるアルゴリズムとシステムを基本に、群内マッチング特有の機能を追加・変更して、構築する。マッチングアルゴリズム、処理

機能、画面インタフェース、データベースなどへ追加・変更を行った。システムを動作させるハードウェアは、歯科医師臨床研修マッチング協議会が保持する「歯科マッチングシステム」の設備を利用し、運用は、歯科マッチング協議会（又は歯科医療研修振興財団）が実施することとした。

D. 考察

平成10年度の厚生科学研究費補助金健康安全確保総合研究分野医療技術評価総合研究事業「歯科医師臨床研修必修化に向けての臨床研修の進め方に関する研究」（主任研究者 中原泉）にて、諸外国の歯科医師臨床研修について調査を行ったところ、制度の有無、期間、必修か否か等さまざまであった。この研究で提案したマッチングの導入については、ゲールシャープレイのアルゴリズムを参考に、現在医師臨床研修、歯科医師臨床研修で行われているマッチングシステムが開発された。

現在、我が国で行われているマッチングは、双方の希望に従い合理的かつ効率的に、1研修希望者と1研修プログラムとの組み合わせを決定するシステムである。しかしながら、歯科医師臨床研修は医師臨床研修と異なり、臨床研修施設群内方式で研修を行う場合、管理型研修施設1に対して、同じ分野の研修を行う協力型研修施設が全国に多数（最大百数十施設）あり、最大百数十人の研修歯科医がそのいずれかに（1つまたは複数の施設）出向することとなる。現行のマッチングで希望の研修プログラムにマッチしたとしても、臨床研修施設群内で協力型研修施設と研修希望者とのマッチングが行われなければ、双方の採用・就職の希望が十分に反映されないことが考えられる。本研究で開発した1研修希望者と複数研修施設とのアル

ゴリズムについては、国内外を問わず例を見ない。協力型研修施設間の競争が生じることにより、臨床研修施設及び研修プログラムの質が向上し、研修歯科医の質の向上が期待されるなど、効率的かつ効果的な歯科医師臨床研修の実施に資するものである。

E. 結論

平成 18 年 4 月からの歯科医師臨床研修必修化に合わせて、歯科マッチングの要素を取り入れた研修歯科医と協力型研修施設との双方の希望を取り入れた新しい臨床研修群内マッチングシステムを開発した。平成 18 年度はモデルとして日本歯科大学附属病院で群内マッチングのトライアルを行う予定であり、効率的かつ効果的な歯科医師臨床研修を実施するために、平成 19 年度から多くの管理型研修施設が群内マッチングシステムを利用することが望まれる。

F. 健康危険情報

患者が直接研究対象になることはないため、健康危険に及ぼす問題は生じない。

G. 研究発表

1. 論文発表

日本歯科医学教育学会雑誌に論文投稿予定

2. 学会発表

1) シンポジウム開催

歯科医師臨床研修関連シンポジウム

ー研修方略における物的資源ならびに群内マッチングシステムー

日時：平成 18 年 3 月 30 日（木）

10 時 00 分～17 時 00 分

会場：日本歯科大学歯学部富士見ホール

参加者総数：265 名

2) 第 25 回日本歯科医学教育学会総会・学術大会（仙台）にてポスター発表予定

3) 第 38 回日本医学教育学会総会・学術大会（奈良）にて口演発表予定

H. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む）

1. 特許取得

予定なし

2. 実用新案登録

予定なし

3. その他

平成17年度厚生労働科学研究費補助金
厚生労働科学特別研究事業

臨床研修施設群方式の研修プログラムの現状

主任研究者 住友 雅人

「歯科医師の臨床研修施設群内における協力型臨床研修施設と研修歯科医とのマッチングシステムの開発」に関するアンケート

アンケート実施日：平成 18 年 1 月 26 日

【アンケート項目】

1. 平成 17 年度に複合方式の臨床研修を実施しましたか？

YES の場合 → 2 へ

NO の場合 → 7 へ

2. 平成 17 年度の従たる施設と研修歯科医の組み合わせはどのように行いましたか？

管理型のみで決定

研修歯科医の希望のみで決定

従たる施設の希望のみで決定

研修歯科医と従たる施設との合意により決定

その他（具体的方法をご記入ください）

3. 平成 17 年度の研修歯科医に対して従たる施設に関する情報の提供を行いましたか？

YES の場合 → 4 へ

NO の場合 → 6 へ

4. 情報提供はどのように行いましたか？（複数回答可）

- 施設説明会を開催した。（時期・回数、具体的方法などをご記入ください）

時期： _____

回数： _____

具体的方法： _____

- 主たる施設のホームページに従たる施設の情報を掲載
 従たる施設のホームページに掲載されている情報を紹介
 従たる施設への見学の企画
 その他（具体的方法をご記入ください）

5. 提供した従たる施設に関する情報の種類を列挙してください。

- _____
- _____
- _____
- _____
- _____
- _____
- _____

6. 平成17年度までに従たる施設へ提供した、研修歯科医についての情報の種類を列挙してください。

- _____
- _____
- _____
- _____
- _____
- _____
- _____

7. 平成 18 年度の協力型施設と研修歯科医の組み合わせはどのように行う予定ですか？

- 管理型のみで決定
- 研修歯科医の希望のみで決定
- 協力型施設の希望のみで決定
- 研修歯科医と協力型施設との合意により決定
- その他（具体的方法をご記入ください）

8. 平成 18 年度の研修歯科医に対して協力型施設に関する情報の提供はどのように行う予定ですか？（複数回答可）

- 施設説明会を開催した。（時期・回数、具体的方法などをご記入ください）
時期： _____
回数： _____
具体的方法： _____

- 主たる施設のホームページに従たる施設の情報を掲載
- 従たる施設のホームページに掲載されている情報を紹介
- 協力型施設への見学の企画
- 特に情報提供は行わない
- その他（具体的方法をご記入ください）

9. 平成 18 年度に協力型施設へ提供する予定の、研修歯科医についての情報の種類を列挙してください。

- ・ _____
- ・ _____
- ・ _____
- ・ _____
- ・ _____

10. 平成 17 年度までに、研修歯科医と従たる施設間で発生した問題点を列挙してください。

- _____
- _____
- _____
- _____
- _____
- _____
- _____
- _____
- _____

11. 平成 18 年度の管理型施設と協力型施設間ですでに取り決めた項目について、平成 18 年 1 月末現在の状況でご回答ください。(複数回答可)

- 受け入れ人数
- 受け入れ時期
- 受け入れ期間

並行申請を行っている協力型施設（複数の管理型施設と連携）に関してはこれらの項目の取り決めが重要ですが、具体的にどのように行ったか、または行う予定かをご記入ください。

12. 歯科マッチングに類似した方式による研修歯科医と協力型施設間で希望順位付けを行う群内マッチングを利用されるかについてお答えください。

- 利用する
- 利用にかかる費用による
- 説明を聞いてから考える
- 利用しない

13. 12で「利用しない」または「説明を聞いてから考える」と回答された方に質問します。回答の判断基準についてお答えください。

14. その他、協力型施設と研修歯科医の組み合わせに関し、自由にご記入ください。

回答者 役職 _____

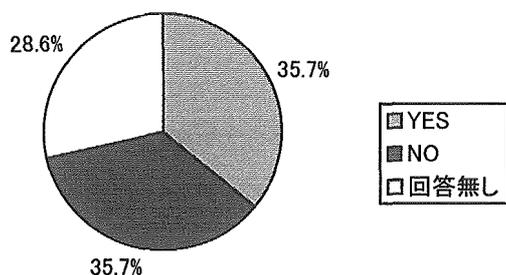
ご協力ありがとうございました。

「歯科医師の臨床研修施設群内における協力型臨床研修施設と研修歯科医とのマッチングシステムの開発」に関するアンケート集計結果

アンケート調査を実施した管理型臨床研修実施施設
北海道大学病院（歯科）
北海道医療大学病院
北海道医療大学病院歯科内科クリニック
岩手医科大学附属病院歯科医療センター
東北大学歯学部附属病院
奥羽大学歯学部附属病院
明海大学歯学部附属明海大学病院
東京歯科大学市川総合病院
東京歯科大学千葉病院
東京歯科大学水道橋病院
日本大学松戸歯学部附属歯科病院
東京医科歯科大学歯学部附属病院
昭和大学歯科病院
日本大学歯学部附属歯科病院
日本歯科大学歯学部附属病院
神奈川歯科大学附属病院
神奈川歯科大学附属横浜研修センター・横浜クリニック
鶴見大学歯学部附属病院
新潟大学医歯学総合病院
日本歯科大学新潟歯学部附属病院
松本歯科大学病院
朝日大学歯学部附属病院
愛知学院大学歯学部附属病院
大阪大学歯学部附属病院
大阪歯科大学附属病院
岡山大学医学部・歯学部附属病院
広島大学病院（歯科）
徳島大学病院（歯科）
九州大学病院（歯科）
九州歯科大学附属病院
福岡歯科大学医科歯科総合病院
長崎大学医学部・歯学部附属病院
鹿児島大学医学部・歯学部附属病院

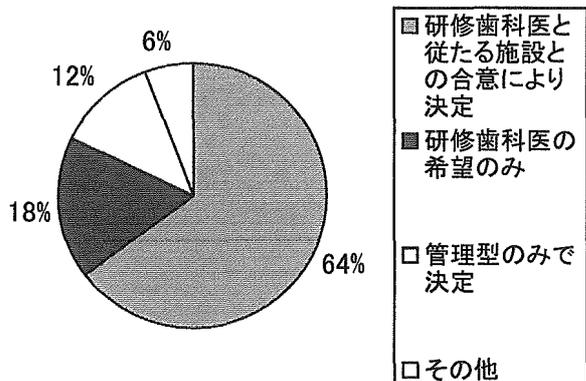
全 33 施設中 28 施設回答

1. 平成 17 年度に複合方式の臨床研修を実施しましたか？



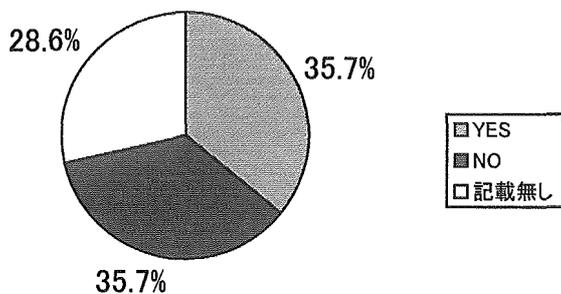
YES 10 施設
 NO 10 施設
 回答無し 8 施設

2. 平成 17 年度の従たる施設と研修歯科医の組み合わせはどのように行いましたか？



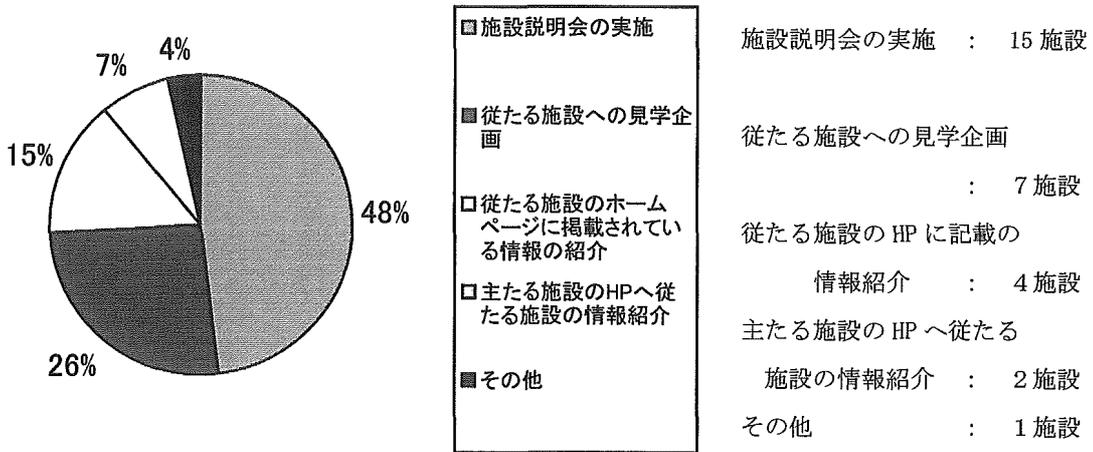
研修歯科医と従たる施設との合意 : 11 施設
 研修歯科医の希望のみ : 3 施設
 管理型のみで決定 : 2 施設
 <その他>
 オリジナルプログラムによるマッチング : 1 施設
 採用試験の成績順に研修歯科医の希望で決定 : 1 施設

3. 平成 17 年度の研修歯科医に対して従たる施設に関する情報の提供を行いましたか？



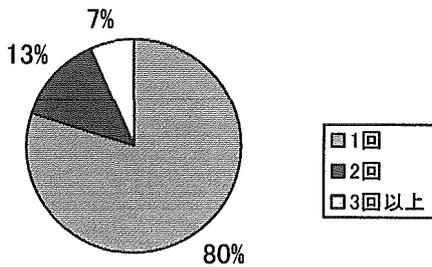
YES : 10 施設
 NO : 10 施設
 記載無し : 8 施設

4. 情報提供はどのように行いましたか？（複数回答可）



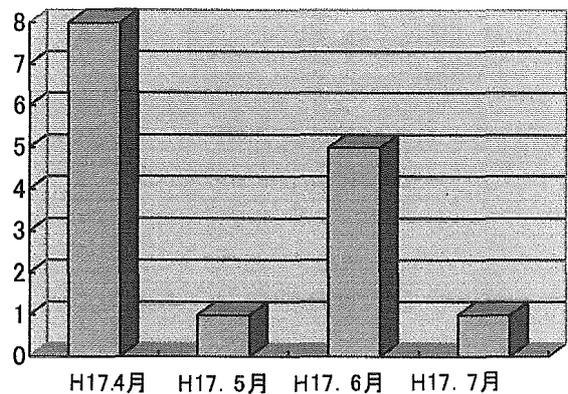
* 施設説明会開催の内容

* 開催回数



1 回 : 12 施設 2 回 : 2 施設 3 回以上 : 1 施設

* 開催時期

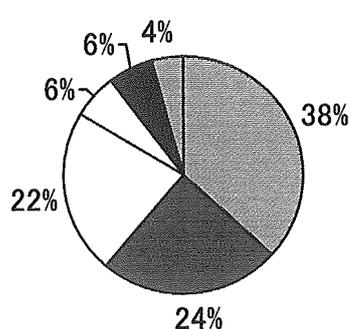


(縦軸は延べ施設数)

* 具体的内容

- 従たる施設の先生来院の上 10 分程度の施設説明のみ : 8 施設
- 従たる施設の概要記載の小冊子配布 : 8 施設
- 従たる施設の先生来院の上施設説明&研修歯科医と面談 : 6 施設
- 全協力型施設情報ファイル作成の上常時自由閲覧 : 2 施設
- 主たる施設において従たる施設の説明（従たる施設関係者の来院なし） : 2 施設
- 従たる施設への事前アンケート結果をマッチング前に研修歯科医へ情報として提供 : 2 施設
- 協力型施設それぞれの対応 : 2 施設
- 歯科研修医と直接面談 : 2 施設

5. 提供した従たる施設に関する情報の種類を列举してください。



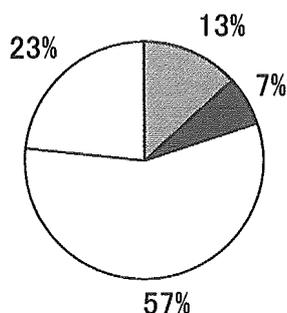
□ 施設の概要
■ 主な研修内容
□ 待遇
□ 宿泊施設の有無
■ 過去の受入れ実績
■ 研修医の評価

- * 施設の概要詳細 : 18 施設
(開設者名、場所、スタッフ数、ユニット台数他)
- * 主な研修内容 : 12 施設
- * 待遇 : 11 施設
(給与、勤務時間、交通費の有無他)
- * 宿泊施設の有無 : 3 施設
- * 過去の受入れ実績 : 3 施設
- * 研修医の評価 : 2 施設

6. 平成 17 年度までに従たる施設へ提供した研修歯科医についての情報の種類を列举して下さい。(回答数の多いものより列举)

- ・ 研修歯科医個人のプロフィール : 10 施設
(氏名、生年月日等履歴書的なもの及び出身大学)
- ・ 管理型施設に於ける研修評価 : 3 施設
- ・ 全研修歯科医名簿 : 3 施設
- ・ 管理型施設における研修内容 : 3 施設
- ・ 歯科医師賠償責任保険加入の有無 : 1 施設
- ・ 研修医が個人的に情報提供 : 1 施設
- ・ 管理型施設としての情報提供無し : 1 施設

7. 平成 18 年度の協力型施設と研修歯科医の組み合わせはどのように行う予定ですか？



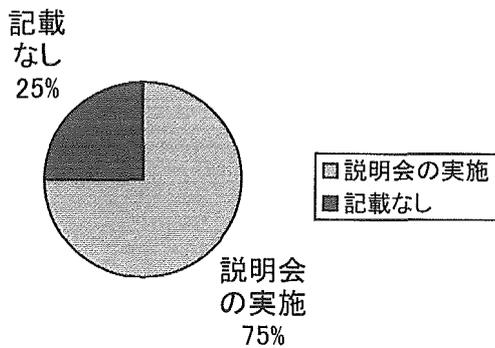
□ 管理型のみで決定
■ 研修歯科医の希望のみで決定
□ 研修歯科医と協力型施設との合意により決定
□ その他

- * 管理型のみで決定 : 4 施設
- * 研修歯科医の希望のみで決定 : 2 施設
- * 研修歯科医と協力型施設との合意 : 17 施設
- * その他 : 7 施設

その他の具体的方法

- ・ 協力型施設での面接結果により決定 : 2 施設
- ・ 採用試験成績上位者よりの希望順 : 1 施設
- ・ 単独型のため組み合わせはない : 1 施設
- ・ 研修医の通勤方法、出身地を考慮（地方大学からの回答） : 1 施設
- ・ アルゴリズムに従ったマッチング方式 : 1 施設
- ・ 群内マッチング予定 : 1 施設

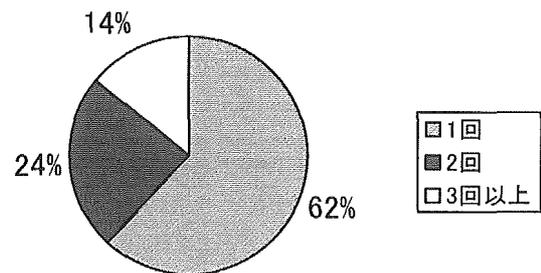
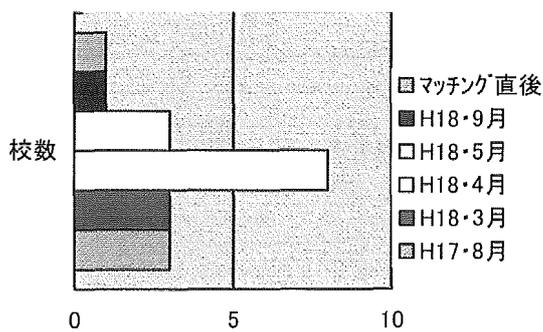
8. 平成 18 年度の研修歯科医に対して協力型施設に関する情報の提供はどのように行う予定ですか？



- * 説明会の実施 : 21 施設
- * 未定 : 7 施設

- * <施設説明会実施の内容>
- * 開催時期

*開催回数



- 1回 : 13 施設、2回 : 5 施設、3回以上 : 3 施設